

今月のテーマ：夏に流行する感染症

夏に流行する感染症にご注意！

高温多湿な夏場は、特に細菌性食中毒の発生件数が上がりますが、実は夏場だからこそ注意が必要な感染症があります！大人は感染しない・・・とされている感染症も大人が感染することもあります。各ウイルスの特長・予防方法を正しく知ること、感染症対策を行いましょ！



夏場に特に注意したい感染症！

感染症	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱(プール熱)
原因ウイルス	エンテロウイルス (コクサッキーウイルスなど)	コクサッキーA群ウイルス (コクサッキーB型ウイルスなど)	アデノウイルス 
主な症状	手・足・口の中に水疱性の発疹、発熱、食欲不振 	高熱、喉の奥に小さな水疱や潰瘍、咽頭痛 	高熱、喉の痛み、結膜炎(充血・痛み)、頭痛
潜伏期間	約3～5日	約2～4日	約5～7日
感染経路	飛沫感染、接触感染、糞口感染	飛沫感染、接触感染、糞口感染	飛沫感染、接触感染、プールの水を介した感染
対策	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いの実施（特にトイレ後やおむつ交換後） ・うがいの実施 ・家族間でのタオルや食器の共用を避ける ・咳エチケットの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いとうがいの実施 ・十分な休養と水分補給 ・咳エチケットの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いとうがいの実施 ・プール後のシャワー実施 ・タオルなど共用を避ける ・咳エチケットの実施
大人でも感染するのか	可能性あり 大人は無症状や軽症のことが多いが、重症化（高熱・全身の発疹・口内炎）や、強い痛みが出るケースもあり	可能性あり（まれ） 大人が感染した場合も、喉の強い痛みや発熱などが起こるが、子どもより重症化することは少ない	可能性あり 家族や医療・保育従事者は感染リスクが高く、目の症状が強く出やすい

夏の感染症 基本的な対策方法

基本は新型コロナウイルス感染症対策と同じです。

夏バテなどで免疫力も下がりやすいので、下記対策を参考に、夏を元気に乗り越えましょう！

3つの正しい咳エチケット

1. マスクを着用する



マスクをつけるときは取扱説明書をよく読み、正しくつけましょう
鼻からあごまでを覆い、隙間がないようにつけましょう

2. ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う



口と鼻を覆ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう

3. 上着の内側や袖（そで）で覆う



悪い例



咳やくしゃみを手でおさえる



何もせずに咳やくしゃみをする

手洗い&手指の消毒



流水・石鹼による手洗い



アルコール消毒剤による手指消毒

特に乳幼児のおむつ交換時には、手にウイルスが付着している可能性があるため、必ず手洗いを行いましょう！

手足口病の原因ウイルスは消毒剤に耐性が強いウイルスの為、**手洗い+アルコール除菌**が効果的です。



※正しい手洗いの徹底…ウイルス対策は1度だけの手洗いより、『2度洗い』が効果的

体調管理を行う



温度差などにより、夏場は体調を崩しやすいです。
十分な睡眠・水分補給を行い、免疫力を高めることも大切です。

食器やタオルの共有を避ける



感染者の飛沫やウイルスを口にしない・接触しないように食器やタオルの共有は避けましょう。

ウイルス性感染症になってしまったら!?
以下の対応を行いましょう！

- 医師の診断を受けて指示に従う。
- 感染拡大を防ぐため施設消毒等の感染対策を実施する。
- 陽性者は休ませ治療させる等、症状の管理を行う。
- 他の従業員の検便実施や感染状況の確認、対策の実施。
- 体調が戻った後、検査を受け陰性を確認する。

水分補給は
欠かさない！

